

〒861-0304 熊本県山鹿市鹿本町御宇田198-5

熊本県城北家畜保健衛生所

TEL 0968-46-2075 FAX 0968-46-3332

城北家保ホームページアドレス

<http://www.pref.kumamoto.jp/site/jouhoku/>

城北家保メールアドレス

jouhokukaho@pref.kumamoto.lg.jp

熊本県城北地区家畜自衛防疫促進協議会

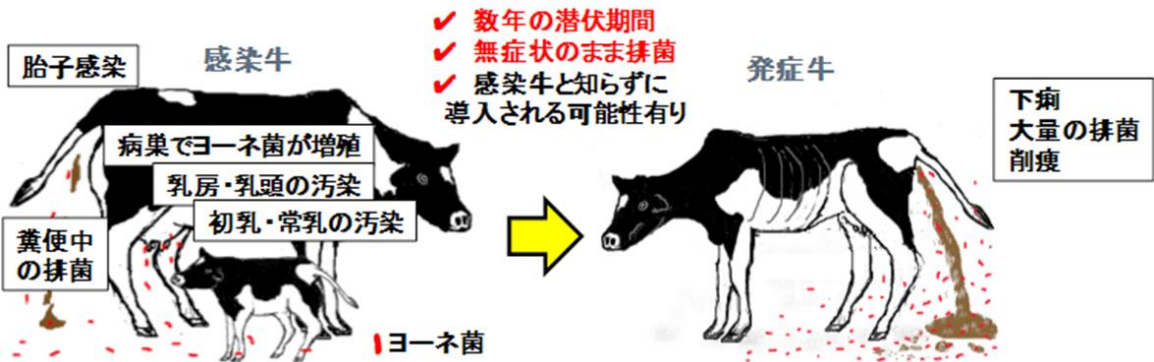
TEL & FAX 0968-46-6882

ヨーネ病について

ヨーネ病は細菌による感染症で、感染すると腸の粘膜内で少しずつ菌が増え、糞便と一緒に排泄されるようになります。ヨーネ菌が含まれた糞便により、牛の飼養環境が汚染されると、エサや水を介して健康な牛にも感染します。

感染から発症までの潜伏期間は、個体により様々ですが、通常1年から数年です。発症すると、1~2週間を周期とする下痢を繰り返し、その後、水様性の下痢が続き、急激に痩せてきます。また、その下痢便には大量のヨーネ菌が含まれているため、他の牛の感染源となります。

現在、有効な治療法やワクチンはありません。ヨーネ菌がいない農場・地域では、ヨーネ病の侵入を防ぐことが最も確実で経済的な対策です。検査による感染牛の早期発見と早期淘汰が最も有効な手段です。



ヨーネ病の感染経路・様式。農研機構提供。国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 ホームページより引用

熊本県では家畜伝染病予防法第5条に基づき、5年に1回、酪農家で飼養されている6か月齢以上の乳用牛等の検査を実施しています。今年度は合志市と玉名郡和水町を対象に5月からヨーネ病の検査を開始しております。市役所・関係団体におかれましてはご協力のほどよろしくお願いいたします。

ヨーネ菌感染牛（患畜）が見つかった場合は、

①患畜の処分

②複数回の全頭検査を実施して清浄性を確認します。

また、清浄性が確認されるまでの間は、

③牛の移動の自粛（やむを得ず移動する場合にあっては、

「牛のヨーネ病防疫対策要領」に基づく検査により陰性が確認された個体に限る。※ただし、肥育のみを行う農場への移動にあっては必ずしも必要ではない。）



家畜の暑熱対策について

梅雨の季節が近づいてきました。梅雨の季節は湿度が高くなり、不快指数が高くなることで家畜へのストレスが大きくなります。また梅雨が明けると本格的に暑くなりますが、家畜は下記の温度を超えると、熱放散が間に合わなくなり、採食量や受胎率の低下等が引き起こされ、生産性に悪影響を及ぼします。そのため、今の時期から、暑熱対策に取り組み、家畜が快適に過ごせる環境を作り、生産性の低下を防ぎましょう。

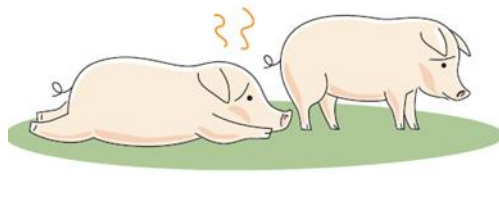
牛が
暑さを感じ始める温度は
約

19°C



豚が
暑さを感じ始める温度は
約

22°C



鶏が
暑さを感じ始める温度は
約

26°C



暑熱対策

《引用: やさしい畜産技術の話》

① 家畜の体感温度の低下に努める

換気扇や扇風機による畜体等への送風や散水・散霧を行い家畜の体感温度を低下させる換気扇については、角度を斜め45度に設置し、日常的に掃除・メンテナンスを行う。

② 畜舎環境を改善する

寒冷紗やよしずによる日除け、屋根裏・壁・床への断熱材の設置及び屋根への消石灰の塗布等を行う

③ 飼養管理

良質で消化率の高い飼料の給与、ビタミンやミネラルの追給及び冷たい水を給与する

④ 飼料作物の管理

夏枯れ等により草勢の低下が見られた場合には、必要に応じて追播や、播種直後の雑草防除等適確な維持管理作業を行う

近隣諸国における越境性動物疾病等発生情報

近隣諸国における海外悪性伝染病発生状況

病名	型	発生地(国)	畜種	発生日月
高病原性 鳥インフルエンザ (HPAI)	H5N1	インド	家さん	令和6年4月21日
		中国	家さん	令和6年5月11日
		韓国	肉用あひる	令和6年5月23日
		台湾	家さん	令和6年4月~5月
アフリカ豚熱 (ASF)		韓国	豚	令和6年5月21日
			野生いのしし(43)	令和6年4月~5月

令和6年(2024年)6月1日現在

毎月20日は「くまもと家畜防疫の日」です。畜舎の一斉消毒をしましょう！！